

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
Ichinomiya



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



世界に希望を生み出そう

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2023年9月7日 第3562回例会

会 長 足 立 誠 会長エレクト 佐々木久直
幹 事 富 田 隆 裕 副 幹 事 鶴 飼 雅 弘
副 会 長 山 上 哲 司 会報委員長 野 村 和 弘

プログラム

卓話

地区職業委員会

委員長 鬼頭 秀幸君

副委員長 倉内 勝広君

第3561回例会の記録 2023年8月31日(木)

会長挨拶

足立 誠

過日、私立学校関係の研修会で、生成 AI(例として、チャット GPT)のお話をお聞きました。東大理事・副学長の太田邦史氏によるものでした。世の中は、その利便性に驚くとともに、教育において「有害」性が強調されている傾向にあります。有益性についてもわかり易く説いて下さいました。

生成 AI は、人類にとって「火」の利用と同等なくらい道具としての恩恵を与えてくれる。

- ・個別の学習の補助教材
- ・教育のインクルーシブ(inclusive)化。包括的・総合的に。領域の融合。
- ・定型的な作業の大幅な省力化
- ・言葉の壁が低くなる。例として翻訳。

箇条書きにしましたが、様々な恩恵を私たちに与えてくれるものであると。反面私たちは、その有害な部分にも留意が必要でしょう。

自立歩行型ロボットの当時第1人者であったある大学教授は、ロボット開発の進展と平和利用との両立について、「ナイフ」の例えを出されました。正しく使えば、調理に役立つが、誤って使えば人を傷つけると。過去においては、ダイナマイトが人の工事現場における最大の助力となるのと同時に、多くの人を傷つけるものとなりました。

本日の紀三井寺 貫主 前田泰道氏による卓話では、人々の生活における技術の最先端のお話と対局をなす、人のメンタリティについて、心穏やかなお話がお聞きできるものと、大変ご期待申し上げます。

委員会報告

ニコボックス

安藤滋朗

☆ 高木道久君

今月25日に開催されました愛知県建設工事紛争審査会の全体会議で、会長に選任されました。任期は2年、大きな紛争のないことを祈りつつ、宜しくお願いいたします。

☆ 山口雅志君 木村亮一君

青少年交換帰国生の船戸優さんと青少年交換派遣候補生の戸松慶登さんにお越しいただいた喜びで。

☆ 足立 誠君

大学時代の旧友、前田泰道氏を卓話の講師としてお招きできた喜びで。

☆ 足立 誠君 富田隆裕君

本日青少年交換帰国生の船戸優君、派遣候補生の戸松慶登君にお越しいただいた喜びで。

国 歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

9月度のプログラム

7日 卓話 鬼頭秀幸君 倉内勝広君
14日 卓話 服部 宏氏
21日 ガバナー補佐訪問 クラブ協議会
28日 インシユーションスピーチ 荻本正久君 小林由洋君

会員誕生日おめでとう

古林幸二君(9月 1日) 村川文穂君(9月 2日)
森 大介君(9月 3日) 榊原 讓君(9月 9日)
三嶋啓一郎君(9月10日) 服部昌志君(9月15日)
森 全光君(9月16日) 青山直生君(9月17日)
野村章夫君(9月27日)

会員夫人誕生日おめでとう

山田一仁君夫人 容 子様(9月 5日)
榊原 讓君夫人 真由美様(9月 9日)
森 全光君夫人 絹 江様(9月10日)
鎌田芳彰君夫人 奈美子様(9月16日)
野田一郎君夫人 美 紀様(9月18日)
土川正夫君夫人 牧 子様(9月20日)
山口雄史君夫人 ミチル様(9月20日)
吉山佐人規君夫人 ネリア様(9月23日)
西岡信幸君夫人 怜 子様(9月23日)
江崎正和君夫人 綾 子様(9月25日)
白鳥匡艶君夫人 弥 生様(9月29日)

結婚記念日おめでとう

川松久芳君(9月16日) 大森輝英君(9月19日)
森 大介君(9月23日) 大鹿晃裕君(9月26日)

次回の予定

卓話

服部 宏氏

(朋和設備工業㈱代表取締役)

出席報告

現在の会員数 111名
本日の出席数 61名
前々回の出席率 100%

***** プログラム *****

卓話

前田泰道氏
(紀三井寺 貫主)

テーマ「仏教には、もっとわかりやすい
仏教がある」



私の居ります紀三井寺は今年、開創1253年。真言宗の一派で、日本最古巡礼道・西国三十三所観音巡礼道の第二番札所、つまり巡礼の寺、そして早咲きの桜の名所です。

バリアフリーを仕事のテーマに

6年前に父・先代住職の遷化を受けて住職になった私は「三つのバリアフリー」をテーマに仕事を進めております。最初は「参詣のバリアフリー」。足の不自由な人、高齢者の為に、ケーブルカーとエレベーターを設置しました。二番目に「景観のバリアフリー」、紀三井寺の境内からは望める和歌の浦の景観を邪魔する樹木や建物を伐採しました。そして三番目が「伝道布教のバリアフリー」。本日ここでお話させて頂くのは、この伝道のバリアフリーの一環です。日本では、大元のお釈迦様の仏教が、理解されていないと思うからです。どうして日本の仏教はチンプンカンプンなのか？

①漢字ばかり ②日本語でも難しい

日本にある仏教の聖典・お経は漢字ばかりです。漢文には助詞が無く、見ただけでは意味が解りません。明治時代以降の仏教研究には文献学が導入され、漢文に訳される以前の、インドの原典を訳したり、調べることで、ようやく意味を把握できるようになりました。インドの言葉、サンスクリット語には助詞がしっかりついていて、意味が確定し易いのです。さて、こうしてお経は日本語に訳されてゆきましたが、訳されたものでも、まだまだ難しい。最も敷衍している般若心経というお経の中の「色即是空」という聖句一つ、日本語訳を見ても、さっぱりその意味はつかめません。

お釈迦様の時代から1000年も経って、難解に変容した仏教が伝わった日本

仏教は、今から2600年前にインドに居られたお釈迦様が説いた教えです。仏教のお経は、お釈迦様の死後、その教えが間違いなく伝わる様に、弟子たちによって編纂されました。

初めの頃の「阿含経」と呼ばれるお経は、お釈迦様の生の姿、生の言葉が反映された素朴なものだったのですが、次第に哲学的な論究が加え

られ、般若経や法華経、華嚴経といった「大乘経典」と呼ばれるお経が作られてゆきます。色即是空の般若の教えは、その典型です。

お釈迦様が生きておられたのが紀元前5世紀、そして、日本に仏教が伝わったのが紀元後の6世紀、お釈迦さんの時代から実に1000年も経ってから、日本に仏教が伝わりました。そしてその頃にはすでに成立していた般若経などの難解な大乘経典が、時代の最先端の仏教として伝わってきました。素朴な、阿含経などの初期経典は時代遅れの遺物でした。

難解な仏教をかみ砕いて広めたお祖師様たち

こうして仏教は、当初の奈良時代には、難解なため一般庶民のものとはならず、国家の宗教として利用され、南都・奈良の一部学究的な僧侶によって研究対象となりました。

次の平安時代には、空海、最澄という天才的な僧侶が、唐(中国)に赴いて、当時最先端だった密教という仏教の最終形態を学び、伝えました。日本仏教は、さらに当時の最先端のものを受け容れることとなり、素朴なお釈迦様の教えは、さらに遠くへと押しやられました。

鎌倉時代になると、法然、親鸞、日蓮といった、革命・革新的な僧侶が輩出します。彼らは、難解だった仏教をかみ砕いて、今度は庶民に伝えることに成功しました。南無阿弥陀仏というお念仏、南無妙法蓮華経というお題目の提示です。真言宗、天台宗、浄土宗、浄土真宗、日蓮宗、禅宗といった宗派仏教は、こうして確立し今に至ります。

仏教には、もっとわかりやすい仏教がある

こうして、日本の仏教は、そのビッグバンともいえる最初期、お釈迦様が説いた、人生の指針としての教えが、一度も主流となることなく、難解な哲学と、お念仏・お題目信仰を大きなふり幅として定着して、今に至っています。

でも初期経典・阿含経などに納められた、生のお釈迦様の説話には、今に通じる、そして小学生にも説き得る、胸にストンと落ちる教えが息づいています。

今日は、クリンチャーガウタミーという女の人の説話をお話して、その一端をお示します。



青少年交換帰国生 船戸 優君からのバナー贈呈



青少年交換派遣候補生 戸松慶登君挨拶